



# Weekly Report

## 名古屋みなと

2018~2019

承認 1966年 5月12日 例会日 金曜日 12:30  
 例会場 名古屋マリオットアソシアホテル  
 事務局 TEL 052-586-2955 FAX 052-586-2956  
 E-Mail office@portnagoya-rc.com  
 URL http://www.portnagoya-rc.com  
 会長 田島伸也 幹事 棚橋 顯  
 広報・雑誌・会報委員長 深谷 友尋

BE THE INSPIRATION インスピレーションになろう R.I. 会長 バリー・ラシン



**第 2527 回例会 No.17**  
 2018年(平成30年)11月30日(金) 晴  
 「奉仕の理想」

### 出席報告

会員 69名中 出席 50名 出席率 72.46%  
 前々回修正出席率 100%

- スピーカー 地区奨学基金・平和フェローシップ  
副委員長 猪子 恭秀君
- ビジター 甲府シティRC 井上 清美さん

### 会長挨拶



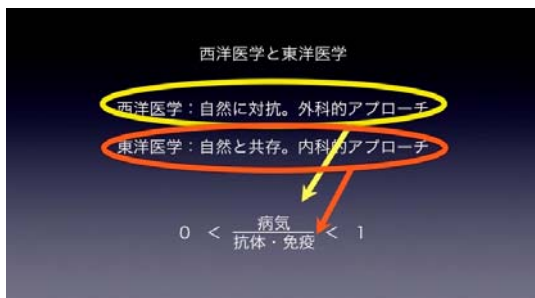
本日の卓話は、会員の猪子君です。「ロータリー財団、今やるべきこと」と題しての興味深い話をさせていただきます。

#### 老化の原因

- ①細胞時計説 (プログラム説)
- ②内分泌説
- ③免疫機能低下説
- ④DNA 損傷説
- ⑤活性酸素説

#### ③免疫機能低下説

人間には本来、自分で自分を守るための生体防御機能として免疫力が備わっているが、免疫力は加齢とともに低下していく。免疫が低下するとウイルスや細菌などによる感染症にかかりやすくなったり、体内にできたガン細胞などから身を守れなくなったり、病気や怪我の回復が遅くなったりする。



- 披露 ①2017~18年度 RI 会長賞
- ②END POLIO NOW 感謝状



### ニコBOX

(猪子君の卓話楽しみです。甲府シティRCの井上さんが訪問されました。歓迎申し上げます)

田島会長

(猪子君、本日の財団卓話よろしくお願ひ致します)

棚橋幹事

(明日から師走です。暖かい年の瀬ですが元気出して頑張りましょう)

中村君

(山川君、杉江君にお世話になりました)

早瀬君 (先日のトラグルメ会で楽しい一夜を過ごしました)

加藤(茂)君

(今日も今年6回目の忘年会があります)

山川君 (黄綬褒章をもらいました)

柳澤君

(猪子君、卓話よろしくお願ひします)

福西君

(11月は、財団月間です。今日、財団の卓話をさせていただきます)

猪子君

(今日はゼロの日です。皆さんお気をつけて！)

岡田君

(白内障手術のため欠席します)

野崎君

(ニコニコ感謝 Day)

柳澤君

本日合計	30,000 円
累計	1,268,000 円

## 卓話 「ロータリー財団、今やるべきこと」

地区奨学基金・平和フェロシップ副委員長

猪子 恭秀君



I 本日は、ロータリー財団の卓話の機会を与えていただき、ありがとうございます。

11月は、ロータリー財団月間です。この月間に会わせて、財団委員会の委員が、クラブを

訪問して卓話をさせていただくことをお願いいたしましたところ、ご了承いただきました。

私は、当名古屋みなとロータリークラブより、2016年から2年間地区の奨学基金・平和フェロシップ委員会に委員として出向させていただき、2018年7月から、同委員会の副委員長を拝命しております。

国際ロータリー第2760地区では、ポリオ撲滅を、最優先課題としております。

先ほどの動画でも、ポリオ撲滅まで、あと少しとされていますが、2018年の野生株によるポリオ症例数は、10月23日までで、

ナイジェリア	0
パキスタン	6
アフガニスタン	16
合計	22

と報告されています。

パキスタン、アフガニスタンの山岳地帯は、外国人が立ち入るには、極めて危険とされています。また、現地の女性は、宗教上の理由から男性との接触を避けるそうなので、ポリオのワクチン接種も女性によって行うしかないそうです。

このような事情なので、私たちがポリオ撲滅のために協力できることは限られてしまいます。

先日行われましたワールド・フード+ふれあいフェスタ事業も、ロータリーの公共イメージ向上とポリオ撲滅への理解と募金活動の場として、ご協力いただきました。

WFFの募金額は、10月27日	507,766円
10月28日	308,960円
2日間合計	816,726円
エンドポリオナイト	358,720円
総合計	1,175,446円

でした。

WFFにご参加いただきました皆さまの御協力に感謝いたします。

II それでは、パワーポイントを使用した卓話を進めさせていただきます。

1 名古屋みなとロータリークラブ様の2017-18年度の寄付額は、

年次基金寄付 1人あたり 141.67ドル  
使途指定寄付 (ポリオプラス)

1人あたり 26.64ドル

金額にすると、次のとおりでした。

年次基金寄付 9,350.50ドル  
(112円) 104万7,256円

使途指定寄付 (ポリオプラス)

1,758.15ドル 19万6,912円

このほかに

恒久基金寄付 1,000ドル 11万2,000円

総合計 12,108.65ドル

135万6,168円

2760地区全体では、次のとおりでした。

年次基金寄付 75万2,943.19ドル

8,432万9,637円

使途指定寄付 93,458.61ドル

1,046万7,364円

恒久基金寄付 97,910.72ドル

1,096万6,000円

総合計 94万4,312.52ドル

1億0,576万3,002円

世界全体の財団寄付額は、次のとおりでした。

2億1,782万7,950.22ドル

243億9,673万0,424円

このように、ロータリー財団の寄付額は、国際ロータリー・地区の運営費をはるかに上回る金額にのぼっています。この財団の寄付からの配分を活用したグローバル補助金と地区補助金の事業により、地区とクラブの奉仕事業が行われています。

2 本日、皆さまにお配りした個人情報メモについて、説明させていただきます。

この個人情報メモは、クラブ事務局から提供していただいたクラブ認証概要レポートにもとづき、会員の皆さまの2018年11月12日現在の情報を記載させていただきました。

この個人情報の数字等について、ご質問等がありましたら、後日私のほうにお問い合わせいただければ、確認させていただきます。

最初のID番号は、各会員の方のロータリーの個人番号です。最近入会された藤掛さんは、1031万番台です。

他方で、長谷川さん、岸上さんは、14万5000番台です。

クラブ認証レポートは、英語で管理されています

ので、「Y」は、「Yes」,「N」は、「No」の意味です。認証額欄は、個人で財団の年次基金, ポリオプラス, 承認された財団補助金のいずれかに寄付された金額の累積額です。

「現在の PFH レベル」とは、ポール・ハリス・フェローの認証を受けているかどうか、何回認証を受けているかが記載されています。

「PFH 認証日」は、ポール・ハリス・フェローの認証を受けた年と月が記載されています。「前回の寄付日と分類」は、前回の寄付を行った年月と、寄付の種類が記載されています。「ベネファクター」は、ベネファクターの認証を受けているかどうか、記載されています。

### 3 寄付の種類について

#### (1) 年次基金について

ロータリーは、世界中の地域社会で、平和の推進、水と衛生の改善、教育の支援、地元経済の推進、母子の健康改善、疾病の治療・予防といった活動を行っています。

年次基金は、このような取組を支えます。

年次基金への寄付の 50%が、3 年後に地区財団活動資金 (DDF) に、残り 50%は国際財団活動資金 (WF) になります。

ポール・ハリス・フェローは、1000 米ドル以上を、年次基金、ポリオプラス等に寄付した個人に贈られる認証です。さらに 1000 米ドル以上を寄付された個人に、マルチプル・ポール・ハリスフェローの認証が贈られます。

#### (2) ポリオプラスについて

ポリオ撲滅活動を支援します。

#### (3) 恒久基金について

恒久基金への寄付は、未来において持続可能なプロジェクトを実施するために必要な財源となります。恒久基金への寄付は、投資され、元金が支出されることはなく、利用可能な収益の一部がロータリー財団プログラムを恒久的に支えます。

恒久基金の利用可能な収益の 50%が DDF に、残りの 50%が WF になります。

ベネファクターは、1000 米ドル以上を恒久基金に寄付された個人に贈られる認証です。

### 4 寄付目標について

今年度 (2018-2019 年) は、次のとおりです。

年次基金寄付 1 人あたり 150 ドル

ポリオプラス寄付 1 人あたり 30 ドル

ロータリー財団についてご理解をいただきまして、寄付目標の達成にご協力を賜りますよう、お願いいたします。

### 5 地区補助金について

当みなとロータリークラブでは、杉江年度の東日本大震災復興支援事業、鈴木年度のネパール支援事

業、寺本年度のハローワールド事業、田嶋年度の仙台マラソン支援事業と、地区補助金を活用した事業を実施してまいりました。

この地区補助金は、前述しました年次基金寄付等の 50%が分配される地区財団活動資金 (DDF) が活用されています。

地区補助金の申請は、事業実施年度の前年度の 3 月までに申請を行うことが必要となりますので、次年度の芹澤工レクト、長瀬副幹事におかれましては、事業の検討を進めていただきますよう、よろしくお願いいたします。

ご静聴ありがとうございました。

## D グループ家庭集会

と き 11 月 30 日(金)18:30~20:30

ところ 「桃花林」

リーダー 梅田 サブリーダー 藤原

出席者 中村 早瀬 遠藤(孝) 水谷

猪子 高山 室原 棚橋 長瀬

寺西 12 名(敬称略)

### 報告

梅田リーダーの挨拶を皮切りに早瀬さんの乾杯音頭にてスタート。

ロータリー入会の動機と入会後の感想をテーマに美味しい料理を嗜みながら和気藹々と皆様のお話に耳を傾けました。大先輩の中村さんからはご自身の経験をご披露いただき様々な出来事に対して柔軟に対応可能な人物になるよう自己研鑽すべきだとの熱い助言が特に心に響きました。早瀬さんからは仕事でのプロフェッショナル道を語っていただき大変勉強になりました。遠藤さんからは早瀬さんとの友情やカナダ人の留学生が縁でロータリーへ入会したなど当時のお話をユーモアたっぷりのダジャレを交えながらお聞かせいただき思わず笑顔になりました。猪子さん、高山さんからは大好きなゴルフとロータリーの接点についてのお話。水谷さん、室原さんは周囲から温かい言葉掛けと年齢を超えて親しく接してもらったので継続出来たとの意外なお話をいただきました。

棚橋さん、長瀬さんからは父親がロータリアンだったので色々な思いはあったが自然に入会されたとお話。寺西さんからは節目の年に我が人生を振り返りお世話になった方々に恩返しをしたいという思いから社会貢献を目的としてロータリーに入会されたと素晴らしい思いをお話いただきました。

最後に梅田リーダーから異業種交流の場であるからこそ親密な関係を築く事が出来るので今後もみなとロータリークラブの親睦のわを大切にしましょうと纏めのお話をいただき写真撮影。

美味しい料理それに紹興酒とビールが多々空いたところで最後の締めを遠藤さんをお願いして Dグループの家庭集会は閉会となりました。皆様の様々なご経験や熱き思いを拝聴し大変勉強になりました。ご出席の皆様ありがとうございました。



### トラグルメ会

とき 11月26日(月)18:00

ところ 豚かつぼう「まいら」



月	日	今後の例会予定
12	14	<b>例会変更 「忘年家族会」</b> <b>12月13日(木) 16階ボールルーム</b>
	21	港友例会
	28	休 会
1	4	休 会
	11	港友例会
	18	卓話「ロータリーの基本について」 元地区職業奉仕委員長 関口 宗男君
	25	卓話「ジャズダンスに対する思い」 (株)ダンスプロ 代表取締役 坂本久美子さん
2	1	卓話 「ヘルプマークを知っていますか？ ヘルプマークを通じて思いやりのある社会」 NPO 法人いのち繋ぐプロジェクト 理事 小崎麻莉恵さん
	8	同好会活動報告
	15	休 会
2	22	<b>例会変更</b> <b>「インターシティミーティング」</b> <b>2月18日(月) 名古屋観光ホテル</b>
	3	1



山田 和男君(89歳)は  
11月26日逝去されました。

謹んでお悔やみ申し上げます。  
(2018年9月14日  
敬老例会で撮影)